

2021年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20211012

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	ごみ減量啓発講座		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的	環境行動の実践者を増やす（家庭ごみの減量）		
実施内容			
活動日時	2021年10月12日(火)9:30～11:30		
活動場所	浜松市西部清掃工場 えこはま		
活動者名	高根美保		
詳細	◎浜松市西部清掃工場 工場見学 ◎私たちの生活ごみを減らす工夫 (1)浜松市のごみの現状 (2)家庭ごみ減量 ・雑がみをリサイクルしてごみ減量 ・環境マークと紙容器リサイクル事業 ・食品ロスを減らしてごみ減量 (3)海洋プラスチックごみ問題 ・使用済ハブラシリサイクル事業		
事業の成果	参加者: 16名 配布物 浜松市「ごみ減量」パンフレット 16枚 紙容器リサイクル回収用手提げ袋 16枚 3R宣言参加 15枚 (リデュース 11枚、リサイクル 4枚) ・ごみの定義や廃棄物処理法の説明を行うことで、浜松ルールだけではないとを説明した。 ・ごみ処理にはお金がかかることや今後稼働予定の新清掃工場の経費も追加された場合、一人1日あたりの処理経費が増える事を説明した。 ・家庭ごみの場合は、ライフスタイルの違いでごみの出し方や量が違っている事。ごみ出し等の利便性を重視する市民は、住居を考える際から検討をしていることなどを説明した。 ・身近に取り組める環境行動として、使用済ハブラシリサイクル事業と紙容器リサイクル事業を説明して参加協力をお願いした。(参加者1名 ハブラシと紙容器カップ持参あり) ⇒今後、イベント等で回収を行うとの話があり、啓発ポスター5枚を配布した。 質疑応答 Q:ごみ処理経費に減価償却を含んでいるか Q:ごみの有料化でどうなるのか		
事業の課題	3R宣言の内容を見ると、食品ロスや水切りなどの取組みが多い。今後は更に商品を手に入れる時から考えるライフスタイルに変える分かりやすい説明が必要だと考える。		

記録添付

